

□私の意見

神戸を 海・陸・空を結ぶ 国際港都に

石田 高士

〈神戸航空貨物ターミナル株式会社
(KIACT)代表取締役常務〉



私が昭和三十九年に神戸市役所の調査室に入った頃、神戸経済は曲がり角にきていました。土地の狭い神戸では、鉄鋼・造船等の臨海型産業の新規立地のための用地などは飽和状態になっていたのです。また、港の近代化も進み、在来船による輸送からコンテナ船等をはじめとする革新船による輸送へと移行しつつありました。

そんなとき発想されたのが、ポートアイランドです。従来の櫛型埠頭を横に広げるのではなく、港の前面の水域を埋め立てて埠頭を作り、内側後背地を居住・業務スペースにする、言わば逆転の発想です。

昔から神戸は、海というチャネルで世界に通じていました。情報やヒト・モノの出入りが盛んだったのは、港があったからこそです。やがて航空機の発達で、船でヒトを運ぶということが少なくなってきました。ヒトは空へ、モノは海へ、という流れになったのです。

実は、その流れも近時また変りつつあり、飛行機でもモノ(荷物)を運ぶ時代になってまいりました。船ほど大量には運べませんが、生鮮のものやハイテク製品・貴重品等は飛行機のほうが断然有利です。

ですから今や世界に通じるには、海の港だけでは不十分なのです。とにかく、空と海と連携したミナトを持つことが、今後の神戸の発展には必要だと思います。

神戸航空貨物ターミナル(KIACT)は、海・空・陸をひとつに結んだ「新しいミナト」です。九月に開港を迎える関西国際空港と神戸を海上ルートで直結し、関空を経て輸出入される国際航空貨物の一大集配拠点となります。また、「定時性、迅速性、確実性」を備えた、西日本経済と世界を結ぶ拠点を目指しています。

これは世界初の試みであり、何の先行モデルもなく手探り状態で出発しました。最初は非常に困難な作業を強いられましたが、まず明確なコンセプトを打ち立て、さまざまな意見を結集し、時間との競争のなかで決断していくことによって、魂の入ったものを作り上げることができたのではないかと考えています。

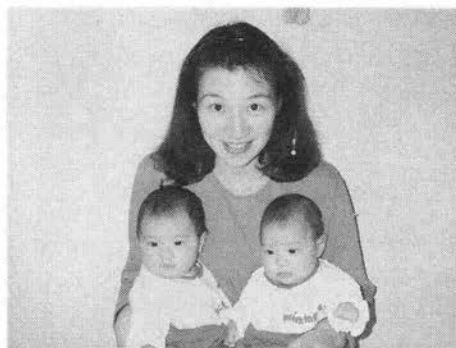
すばらしい結果が得られることを信じて、今後もミナト神戸の発展に寄与していきたいと思っていますので、諸兄のさらなるご支援ご協力をお願いします。



SAMOTO CLINIC

佐本
産科

ママといっしょに



赤ちゃん：松浦 梨奈 ちゃん〈長女〉（平成6年
1月24日生まれ）
松浦 果奈 ちゃん〈次女〉

ママ：奈美さん

「素直で明るい、誰からにも好かれる人に育って欲しいです。」

★ 佐本産科・婦人科 ★
佐本 学

神戸市兵庫区中道通 4-1-15

☎078-575-1024(病室) ☎078-576-9639

市バス上沢 4 停南スグ

● 駐車場完備 ●

夏の役者が勢ぞろい

デザートセット

フルーツたっぷりの爽快ゼリー
正統派カスタードプディング
伝統の味わい豊かな水ようかん



良く冷やしてお召し上がり下さい

8 個入り ￥ 2,000

12 個入り ￥ 3,000



株式
会社

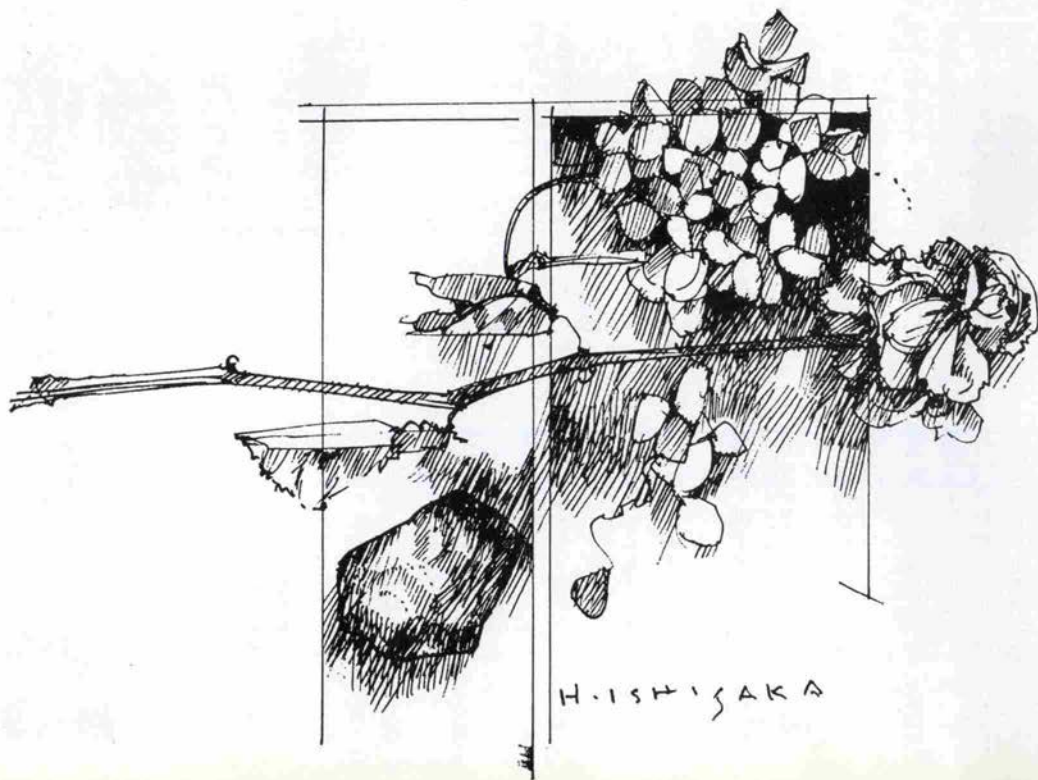
北 欧 の 銘 菓
Zweigelt

本 社 〒651-21 神戸市西区北別府2-1-2
TEL.(078)974-9756 FAX(078)974-9758
大阪営業所 〒558 大阪市住吉区お田町7丁目12-19
TEL.(06)697-9435 FAX(06)697-4188

東 京・名 古 屋・大 阪・神 戸

洗朱／鈴木 漠

沖の方には
巨きな器^{うつわ}があって
絶えず時間を汲み上げている
夜明けちかく
波打際はめくれていて
それは 婚姻の床の
柔らかく冷たい敷布だ
群れて飛んで
鳥たちはそのまま
愛憐の文様となるのだろう
ここでは
自然が 人間を
人間の営みを模倣するのだ
ひっそりとして
死者と生者とが
交わる気配もする
天地に慈しみはない*
と いわれるのだが
あの 雲と波との重なるあたり
ようやく太陽は生まれて
ひとすじ
洗朱^{あらじゆ}の帯^とが解^とかれています*
曙
蕩児のように
光を背負って
船が一艘帰ってくる

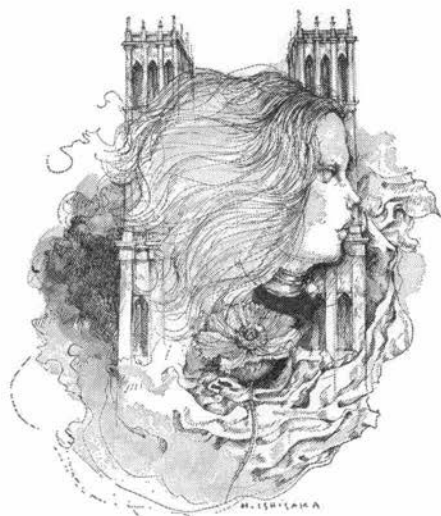


絵／石阪春生

* 天地に：。老子「上篇」

* 洗朱。色名、黄味を帯びた薄い朱色。

月刊神戸っ子
 <<400号>>
 へのメッセージ



絵/石阪 春生

ご健勝を心からお祈り申し上げます。

牧 冬彦

〈神戸商工会議所
 会頭〉



月刊神戸っ子が記念すべき創刊四〇〇号を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴誌は、昭和三十六年の創刊以来、今日まで地域に根ざしたミニコミ誌として、文化、芸術など多岐にわたる神戸発の情報を創造・発信され、多くの神戸っ子の共感を引得られました。

このたびの創刊四〇〇号を機に、誌面の一層の充実をはかられ、新しいライフスタイルの提案やコミュニケーションを通じ、神戸に相応しい文化の香り溢れる地域社会づくりに寄与されますことを期待致しております。

宮崎 辰雄

〈財)神戸都市間
 題研究所理事長〉



「月刊神戸っ子」四百号発行おめでと。

開港以来、世界に開かれた国際港都として発展してきた街、神戸。「月刊神戸っ子」はそんな神戸にふさわしいタウン誌と言える。三十年の長きにわたり、神戸文化の情報発信誌として、地域文

貝原 俊民

〈兵庫県知事〉



創刊四〇〇号を心からお祝い申し上げます。

関西国際空港の開港を機に、世界都市「関西」を先導する地域として注目を集める兵庫県では、瀬戸内海から日本海側に及ぶ全地域にわたって、交流と共生の舞台づくりが着々と進んでいます。もとより、それを支えるには、的確でタイムリーな情報の広がりが必要不可欠なことはいうまでもありません。月刊神戸っ子が一層充実し、より多くの人々に愛され親しまれることを期待しています。

笹山 幸俊

〈神戸市長〉



月刊神戸っ子が創刊400号を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

タウン誌の草分けとして昭和36年に発刊されて以来、地域に密着したきめ細やかな取材による紙面は、市民はもとより、神戸を訪れる人にも大変力強い道しるべとなっております。新しい情報を神戸から発信し、文化の花開く都市づくりに、これまで以上に貴誌のお力添えをいただきますようお願いいたします。最期に、神戸っ子の今後ますますのご発展と皆様方の

化の振興に大きく貢献されたましたことに、敬意を表します。

今後益々、「月刊神戸っ子」が、国際性を高め、二十一世紀に向けたタウン誌として、発展されることを期待いたしております。

淀川 長治

〈映画評論家〉



むかしから、たいがい新しい印刷物誌は、三号でつぶれるものですが、この、鬼才・神戸っ子は四〇〇号を迎えました。鬼オプラスみらくる。これもひとえに神戸っ子魂の叫びとこそ申せるであります。KOBECOCOと綴るこの西洋あくせんと文字をつらぬかれたことその他もろもの神戸のヤンチャ、ナンジャチューネン、アホカ、カマヘン、ヤツチャルデエ……のこの精神のたまものであり、ひとえに鬼人小泉美喜子女史の成せる業でありますぞ！

田辺 聖子

〈作家〉



パツとあかるい、力強いオーラが発散するような雑誌ですね。最新の神戸情報が得られて、その上に見てたのしく美しいからすてき。

全国の人に読んでもらえればい

いな。神戸の町へまだ来たことのない人でも、「神戸っ子」を読むと神戸にいる思いがするでしょう。

そして神戸を訪れる時には「神戸っ子」をガイドブックにして。日本中の人に読ませたいわ。

米花 稔

〈神戸大学名誉教授
福山大学教授〉



創刊四〇〇号おめでとう存じます。継続は初心からの伝統とたえざる革新のバランスの三十余年の経験の蓄積によるものと、小泉さんはじめ関係のかたがたの努力の賜物と心から敬意を表します。なにより「月刊神戸っ子」を通じての地域の多様なジャンルの交流の役割を想うと、コミュニケーション時代といわれる二十一世紀を前に今後の一層の発展を期待します。

新野幸次郎

〈神戸都市問題研究
究所所長〉



編集発行人の危険負担で発刊される商業誌なる、祝何百号ということで社外の人にメッセージを依頼することはない。その点「月刊神戸っ子」は違う。会社は有限会社とはなっているが、本誌巻末に列記されている市内の沢山の名士に守られ、また神戸を愛する市民の人々の支援で続いてきている難

誌である。その意味では一種の協同組合的なものになっている。今後の飛躍のためには、この辺の点検が不可欠になると言ってもよいかもしれない。ご健斗を祈ります。

田崎 俊作

〈田崎真珠株式会社
代表取締役社長〉



「神戸っ子」創刊400号誠におめでとうございます。

神戸を代表するハイセンスな香りを持つタウン誌として、数多くのファンに愛読されていますが、これは33年に及ぶ毎月毎号の積み重ねであります。

レイアウトの斬新さ美しさ、編集内容の充実等、「神戸っ子」を傍に置くだけで楽しく感じます。今後も神戸の街の掛け替えのない情報誌としての、役割を十分に果たしていただきたいと期待しています。

中内 力

〈ポルトピアホテル
取締役社長〉



「神戸を訪れる人々にはやさしい道しるべ」をモットーに「月刊神戸っ子」が創刊四百号を迎えられ誠におめでとうございます。観光やコンベンション参加の為に、昨年神戸を訪れた観光客は二千七百万人に達し「月刊神戸っ子」

は必携の情報誌として高く評価されています。閑空開港で神戸の存在を内外に強くアピールしなければなりません。これから集客都市・神戸の発展の為に感性豊かな楽しい情報や企画を発信されまう期待しています。

望月 美佐

〈望月書店芸術院院長〉



「継続は力なり」の言葉通り、社長、編集長以下皆様方の地道な努力が実って、この度四百号を迎えられたこと心からお祝い申し上げます。私にとって月刊神戸っ子は多くの情報を知る手掛りであり、又ファイルにしたりして毎月とても楽しみに待っております。これからも大きく飛躍され、千号を目指して、神戸らしい明かるく、お洒落な雑誌を期待し、陰ながら応援しております。

小石 忠男

〈音楽評論家〉



四〇〇号達成おめでとうございませう。希なる記録と思いますが、それ以上にこの雑誌がタウン誌の分野で神戸の文化に貢献したことを高く評価したいと思います。しかし最近では、それが整ったスタイルとして定着した結果、マンネ

リズムに陥りやすい傾向も、わずかながら感じとれます。この四〇〇号を機に紙面の刷新をお願いしたく、とくに私の関係では、音楽分野の情報や批評、エッセイなどを、さらに充実して欲しいと思います。

石阪 春生

〈画家〉



神戸の人々にすっかりと、おなじみになったタウン誌「神戸っ子」も400号を迎えると言うことで、なんとよくつづいたものだとすばらしい数字であると、心からお祝いを申し上げます。いままさらながら小泉(兄)社長の発想とねばり、小泉(妹)編集長の感性と人脈のひろがりに敬服せざるをえません。

こうした、神戸っ子エネルギーは500号、600号へとまさにエンドレスに道は続くのである。

川上 勉

〈オールスタイルグループ会長〉



フアッション都市は？と今東京で聞いても札幌、福岡で聞いてもその答は「神戸」。
20年余り前「神戸」を国際的なフアッション都市にの運動を神戸フアッションアソシエーションの

仲間達が起した。「月刊神戸っ子」は真先にこれを誌面に取上げ、長期大キャンペーンを打ち、運動を官、産、学に婦人団体、文化人、報道機関も巻き込んだ一大市民運動へと触発する役割を果たされた。

400号を契機とし、今後更に「世界をリードする個性派先進文化都市神戸」の限らない歩みを支える人やグループ、企業や団体を発掘しながら「香り高い文化のまちづくり」に貢献活躍していかれることを期待します。

松宮 隆男

〈モロゾフ株式会社代表取締役会長〉



私は神戸生まれの神戸育ちで、神戸で遊び、神戸で仕事している、根っからの「神戸っ子」です。神戸が自慢で、神戸が好きで、神戸の悪口を言われるととても腹が立ちます。海あり山あり、魚とれとれ、肉美味い、水良、美人多くて、気候よし、多少経済の規模小さくても、日本一の道楽都市である。

何時までも、「神戸っ子」の誇りを歌い続けて下さい。

森 範二

〈株式会社大丸取締役神戸店長〉



創刊四〇〇号おめでとうござい

ます。

「月刊神戸っ子」は、本当に神戸を愛し神戸を知る神戸っ子による神戸っ子のためのミニコミ誌として、三十余年にわたり常に街の中に、私たちの心の中にありました。小磯良平画伯の作品が表紙を飾るこの本は、まさに神戸そのものでありましょう。継続は力です神戸のミニコミ誌として今まで培われた力を基に、四〇〇号を一つの道程として五〇〇号に向かってますますの発展をお祈り致します。

畑崎 広敏

△株式会社ワールド
△代表取締役社長▽



とかく関西では雑誌が育たないと言われる中、「神戸っ子」が創刊400号を迎えられ、私もうれしさで一杯です。常に神戸を刺激し続ける先駆者の雑誌として、関西の発展に大きな役割を果たしてくれた「神戸っ子」。今、関西が注目を浴びている中で、500号、1000号に向けて益々期待がふくらむところ

です。
「神戸っ子」も「ワールド」も、神戸で生まれ、神戸で育ったもの同志。これからも、お互い飛躍し続けて行きたいものです。

武田 則明

△建築家▽



不特定多数の顔の見えない市民社会ではなく。一人一人が生き生きとした個有名詞を持った顔の見える市民社会を形成する為に。時にはマンネリに落ちいっても良いから、若々しい常に新しい出来事や物にすぐに飛びつく神戸っ子の氣質を忘れることなく。お祭を愛し、美しいものに興味を引かれ、美味なるものに心引かれる。しかし軽薄無知ではなく。弱いものの味方であり、ちよびり知的でさらなる500号に向けて頑張ってください。チャオー。

王岡かおる

△作家▽



大袈裟なようだけど、「神戸っ子」は母なのである。私・玉岡かおるのデヴュー作『夢食い魚のブルー・グッドバイ』（新潮社）は神戸文学賞の受賞作が土台だった。この本は15万部も売れたのだから、400号の間に産み出されたものの中でも輝やける場外ホームランになるのではと自負している。五月に上梓した「神戸ハートブレイク・ストーリー」も本誌に連載した作品がメイン。子が子を産む、

そんな時代まで末長く現役の母でいてほしい。

安水 稔和

△詩人▽



手にとるまえから、神戸を感じさせる雑誌であってください。
神戸から遠いところの人にも、神戸のおとなりの町の人にも、そして、神戸へ移ってきた人にも、神戸生まれの神戸っ子にも、ああ、神戸だなと感じさせてください。
いつも時代とともに生きる雑誌であってください。神戸の街を駆け抜けてください。

小室 豊允

△姫路獨協大学教授▽



経済活動の広域化がますます進み、国家への帰属意識が薄まるにつぼう、共通の文化（言語、食習慣など）を持つ地域のつながりが強くなっています。

金太郎アメのように特色のない日本の都市のなかで、神戸はめずらしく「文化」と呼べる地域性があります。

四〇〇号を迎えた「神戸っ子」は、その文化を伝え、情報を発信しつづけています。ますますのご健闘をお祈りします。

中内 功

（神戸ダイエー
代表取締役会長
兼社長）



一九六一年に創刊されて以来、神戸市民の情報誌として、神戸経済や文化の紹介を通じて地域社会の発展に貢献されてきたことに敬意を表します。

今後とも、定食メニューのような一般的な神戸経済や文化の紹介ではなく、独自のフィールドワークによって発掘した、神戸の良さや面白さを多くの人に伝え、新しい神戸文化の担い手としてますます発展されますことを心から祈念いたしております。

陳舜臣

（作家）



四百号おめでとう。ずいぶんがんばりましたね。「神戸っ子」の誕生が、私の作家生活スタートと同じ年なので、記念すべき四百号という数字は、私にとっても感慨深いものがあります。高く積み上げたので、足もとにくれぐれもご注意。高すぎて目がくらむおそれがあり、記念号がすぎると、もう四百という数字を意識しないほうがいいのではあるまいか。それから、抜かりはないと思うけれども、あとつぎをきたえておくこと。おめでとう！

中西 勝

（画家）



「神戸っ子」とのおつきあいはその前身の『もとまち』以来です。から、34年になります。同人雑誌のようにスタートしたときから、「描かせてもらっている」という気持ちをお忘れないようにしています。400号に達した「神戸っ子」も傲ることなく、いつも初心を忘れないでいて下さい。

神戸の人は自分のことをオッチョコチョイだとよく言いますが、文化度の高いオッチョコチョイを目指して頑張ってください。

伊勢田史郎

（神戸芸文議長）



神戸の文化を考えると、「神戸っ子」の存在を抜いては大きな欠落が生じます。この舞台には、優れた多れた多くの芸術・文化に携わる人びとが登場しました。またブルーメール賞などの創設は、有為な新人に機会を与え、神戸という開かれた都市に、より爽やかな風と活力を送り込みました。感性ゆたかな人材を育て、町づくりに貢献する、そんな方向の延長線上に「神戸っ子」のさらなる発展も約束されています。四〇〇号、本当におめでとう。

ジャン・メルオー

（神父）



神戸の町にほえみがあります。33年前から。

神戸っ子400号発刊おめでとうございませう。

皆様いつもながらありがとうございます。

角本 稔

（ルミナス観光佛
産業部次長）



月刊神戸っ子四百号誠におめでとうございます。昭和9年からの誌を33年前から継承されたとか。港街の土壌と貴誌のバイタリティーと感覚が今日の神戸を育んだと言えます。

私は昭和54年春、当時港めぐりの船長在職中に取材で見えられた小泉副編集長（当時）と巡り合いました。以来、海船港欄に執筆する機会を与えられ、今は港街づくりを共にさせて頂いています。「神戸の事は神戸っ子を見れば分る」本として更に頑張ってください。

嘉納 邦子

（故小磯良平画伯
次女）



私の大好きな神戸のお店、永田良一郎家具屋さんやサノへさんの店内に何時もおかれています。オシャレな雑誌「神戸っ子」。父の絵の

表紙もすっかりおなじみになり、何だかほっとうれしくなる。

あのほどよい大きさがいい……

あの表紙の白の部分もいい……

400号が今度は500号に向けてずつとオシャレにありつつづけて下さい。

又、お祝いのメッセージが書けることを祈っています。

植田 神爾

△宝塚歌劇団演出家▽



創刊四〇〇号おめでとうござい
ます。改めて創刊まもないころ、
いかにも神戸らしい色彩の明るさ
とモダンさが新鮮でとても刺激を
受けたことを昨日のように思い出
します。全国では『銀座百店』
「あまから」しかなかったころ
に、いかにも神戸らしい時代の早
取りを感じたものです。そのころ
とは神戸の街も変革を遂げていま
す。その時代に遅れることなく、
五百号、千号をめざして下さい。

鳳 蘭

△女優・元宝塚
歌劇団▽



創刊四〇〇号、おめでとうござ
います。月刊誌四〇〇号といえ
ば、三十三年余り…、大変な歴史
です。

江戸っ子、浪花育ちなどに囲ま
れている、神戸生まれ、神戸育ち
の私にとって、「月刊神戸っ子」

は、いつも力強い味方です。

これからも、神戸出身者の心の
バックボーンとして、刊行を続け
て下さい。

同じ神戸を愛する者として、頑
張りましょう。

永田良一郎

△永田良介商店会長▽



今、私の手許に、戦前昭和十年
の七月～十一月の神戸っ子五冊が
あります。これは当時の神戸の専
門店に大丸が加わった十店が会員
となって毎月発行したらしいもの
で私の店も末尾に付いて仲間に入
れて貰っておったのが残っていた
訳で、今読み返して見ると、当時
としては斬新で、今の神戸っ子よ
り高尚な感じもし、ザラ紙ではあ
りますが貴重なものとして大事に
したいと思っております。尚現在
の神戸っ子も創刊号以来全て揃っ
ております。

朝比奈千足

△指揮者▽



「神戸っ子」は、私が音楽家とし
て活動を始めた時から15年間ずつ
とバックアップし続けてきてくれ
ました。今日の私があるのも一重
に「神戸っ子」のおかげだと言っ
ても過言ではありません。その
「神戸っ子」が今回400号を迎える
とは驚きです。本当に心からお祝

申し上げます。私にとっては「育
ての親」である「神戸っ子」。神戸
の社交界を紹介する雑誌の老舗と
して今後のますますの発展をお祈
りしております。おめでとう!!

—オーストラリアより—

藤本ハルミ

△KFM会長・
「デザイナー」▽



「四百号って、何年になるわけ…」
「三十三年目よ」

「女の厄年やねえ」

リストラで思案投げ首の上移転
したビルが家賃が半額なのに部屋
の大きさは同じ、新築で眺望もよ
しいことづくめで、正に一寸
先は光! である。

タウン誌としてそれだけ長く続
くことは全国でもまれだと聞く
が、比叡山の山田恵緒管長が編集
長のミコさんにくだされた「楽
天」(天を楽しむ)を心の支えに
厄もきつと乗り切るに相違ない。
まずは四百号出版おめでとう。

新井 満

△作家▽



創刊四百号おめでとうございま
す。月刊神戸っ子の素晴らしい所
は、明かるい光に満ち溢れている
こと。風通しが良いこと。頁を開
くと、その向こうから音楽が響い
てくることにあります。光と風と
音楽の雑誌の明日に乾杯!

■ 第18回

井植文化賞

受賞者発表

主催・財団法人井植記念会

.....

戦後、日本の復興と繁栄に大きな足跡を残した三洋電機株式会社の創設者・故井植歳男氏の遺志により、「財団法人井植記念会」は昭和44年11月に設立されました。同会では兵庫県在住または兵庫県にゆかりの深い人（団体）の中から、めざましい活躍をされ、かつ、多大な貢献をされた人（団体）を対象に、その功績を讃え、と共に地域社会のより一層の発展に寄与したいと考え、昭和52年に「井植文化賞」を制定しました。18回目の今年、6部門の受賞者は次の通りに決定しました。受賞者にはライオンのブロンズ像と、副賞として賞金・個人30万円、団体50万円が贈られます。各賞の選考についてはP.42をご覧ください。

■ 科学技術部門



天津 睦 郎

<神戸大学医学部教授>

神戸医科大学大学院修了後、フンボルト奨学金を獲得して昭和47年にケルン大学へ留学。神戸大学医学部附属病院で勤務の後、昭和61年、神戸大学医学部教授（耳鼻咽喉科学）に就任。現在に至る。喉頭癌患者にとって大きな福音となる天津式音声再健術の研究に尽力。顕著な効果を上げ、高い評価を受けている。国内のみならず、ドイツ、フィリピンの学会にも名を連ねている。

■ 文化芸術部門



鈴木 漠

<詩人>

井正海運株式会社、徳島シャトルライン株式会社の取締役と徳島県旅客船協会事務局長を務めるかたわら、精力的に執筆活動を行い、昭和33年刊行の詩集『星と破船』を皮切りに3～4年に一冊のペースで珠玉の詩集・連句集を刊行している。また同人誌「海」の創刊、連句同人「海市の会」の結成等、活動は幅広い。日本詩人クラブ賞受賞。連句協会推薦図書表彰。徳島県出身。神戸市在住。



■ 報道出版部門

Kiss-FM 社長
小 樽 雅 章

心をどこかに置いてきた様な気がしていた。
人々の空ろな心を埋めるものは何か——。
それを求めて神戸ラブストーリー「ドラマ8」を作った。
たくさんのメッセージが寄せられている。
今では番組を通して人と人が語り合う様になった。
人々の心を潤すものがここにあった…実感である。



■ 社会福祉部門

檜 崎 茂登子

<元・日本病院ボランティア協会会長>

昭和41年、公立病院としては初めてボランティア活動を始めた県立西宮病院では、その当初から中心的存在となり、その後も尼崎、宝塚、西宮の公立病院や兵庫医大病院等で次々とボランティアのグループづくりに力を注いで現在に至る。昭和49年設立の「日本病院ボランティア協会」では昭和56年から4年間、会長を務めた。現在は宝塚市の市民相談等も担当している。



■ 国際交流部門

桑 原 泰 業

<関西西日印文化協会会長>

現在、昭和22年設立神戸ユネスコ協会会長、昭和33年設立関西西日印文化協会会長、昭和61年設立日本ネパール文化協会会長として活躍中。定例の月例会では、インド文化をテーマに講演会等を行っている。昭和59年芸術文化団体半どんの会より、「半どんの会文化賞（県民感謝賞）」受賞。平成3年兵庫県知事より「兵庫県功労者」として表彰される。



■ 地域活動部門

五色町における
保健医療福祉
I Cカードシステム
開発検討委員会
代 表 松 浦 覚

町政の基本施策として住民の健康を取り上げた五色町は「健康の町」宣言を行い、I Cカードを用いた保険・医療情報システムの開発、教育を進め平成2年から本格的な導入が始まっている。I Cカードには個人の健康に関する情報が全て入力されているが、プライバシーの保護にも十分な配慮がなされ、現在では全町民の約半数が利用するまでになっている。

★選考委員

伊勢田 史郎

〈詩人・
神戸芸術文化会議議長〉

君本 昌久

〈詩人〉

安水 稔和

〈詩人〉

最新作『色彩論』で
注目される風雅の詩人

鈴木 漠

この六月に宮城県中新田町へ出かけた。そこで出会った東北六果の詩人たちの何人かの口から鈴木漠という名前が出た。鈴木漠さんはお元気ですか。よろしくお伝えください。漠さんはみちのくにまで知られた存在なのである。

鈴木漠さんは生まれは徳島だが、神戸の詩人である。若い頃から神戸に住み、現在はポートアイランドの住人である。一九五八年の第一詩集『星と破船』から昨年の『色彩論』まで十一冊の詩集がある。その一冊一冊がなかなかに在りたい珠玉の作物なのである。一九八〇年刊の詩集『投影風雅』で日本詩人クラブ賞を受賞している。最新作『色彩論』は日本現代詩人会の現代詩人賞の候補になった。また、連句を試み、その成果を『壺中天』などの連句集にまわっている。

現代詩が散文と定型詩のはざまで限りなく拡散にむかっていくなかで、現代詩でなければ掘いとれないものに深く思いをいたらせる数少ない詩人である。言葉の海から一語一語さびしく選びとり、拾いあげたことばの輝きと色あいを確かめいとおしみ、ことばの来し方・行く末に光をあて、ことばの△花△を現出させつつける現代有数の風雅の詩人である。

△安水 稔和▽

■選考経過

文化芸術部門は、美術、文学、音楽の三分野を毎年交替制で選考しており、今年は文学分野からの選考となった。

候補として真つ先に挙げられたのが、詩人の鈴木漠氏であった。

次に、いずれも詩人の金田弘、和田英子、直原弘道、君本昌久の各氏の名が挙がった。

君本昌久氏は今回、選挙委員として候補者を選ぶ立場ということで辞退された。

他の各人もいづれ劣らぬ活動をされており選考は難航したが、最後まで争ったのが金田弘氏と鈴木漠氏。

金田弘氏は、西脇順三郎や会津八一の評論が高く評価されたが、純粹に現代詩の分野で傑出した活動を続け、最新作『色彩論』で現代詩人賞の候補にもなった鈴木漠氏を推す声が強く、最終的には鈴木氏に決まった。

●受賞者メモリアル

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|------|------|----------|-------|-------------|-------|-------|------|------|---------|---------|-------|---------|------|--------|
| 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 大前哲 | 喜沼潤 | 宇江敏勝 | 光安義光 | 今竹七郎 | 青木はるみ | 神戶瀧ライオンズクラブ | 山沢繁子 | 延原武春 | 安水稔和 | 昇外義 | 田原富子 | 多田智満子 | 荒木高子 | 横井和子 | 山口幸平 | 河口龍夫 |
| △作曲家▽ | △演出家▽ | △作家▽ | △作家▽ | △グラフィック▽ | △詩人▽ | △詩人▽ | △写真家▽ | △指揮者▽ | △詩人▽ | △画家▽ | △ピアニスト▽ | △ピアニスト▽ | △陶芸家▽ | △ピアニスト▽ | △作家▽ | △現代美術▽ |



●第18回井植文化賞 ■科学技術部門

天津式音声再建術で 喉頭癌患者に福音を 天津 睦郎

★選考委員

岩崎 照雄

＜神戸大学農学部長＞

片岡 邦男

＜神戸大学工学部長＞

山鳥 崇

＜神戸大学医学部長＞

飯尾 理郎

＜神戸新聞文化事業局次長＞

ヒトの喉頭癌に対する摘出手術は、ビルロートによって一八七三年に行われたのが最初であると言われる。以前一二〇年間にこの手術は喉頭癌の根本的な治療法としていろいろ改良され、世界で広く行われてきた。しかしながら喉頭の摘出によって癌は治っても、患者は音声を失う。この為に第二の音声の獲得がその後の生活の為に必要である。今までに食道を用いたり、人工声門によって術後の音声の再建が種々行われてきたが、なかなか生来の声を取り戻すまでには到らなかった。

天津睦郎教授は、これを解決する為、気管と食道の間に人工的な交通路を作り、咽頭に達した呼吸でその粘膜を振動させる本来のものに近い声門を作る方法を考案した。しかしこのままでは食物をのみ込む時に、それが気管に漏れる危険がある。天津教授はさらに、人工のこの交通路を食道の筋肉で覆い、食物の漏れを防止する工夫をした。嚥下する際に、食道が拡張・挙上するのを利用して気管と咽頭間の交通路を閉鎖させるのがねらいである。

この天津式音声再建術は、それから派生した類似術式と共に、世界各地で用いられ、喉頭癌の患者にとって大きな福音となっている。

△山鳥 崇▽

選考経過

工学系からは、半導体の微細構造制御と物性制御および高度機能化に関する研究成果で評価の高い山本恵一氏。レーザー計測技術向上に大きく貢献し、これを用いた研究成果のオリジナリティーの高さが光る中島健氏の二人の名前が挙がった。

農学系からは、植物フィトクロームを介する光シグナル伝達機構の研究で顕著な業績を上げている山形裕士氏が候補に。

医学系からは、喉頭癌治療による喉頭摘出の際に従来まったく見棄てられていた上部気管の膜様部を利用して、気管と食道の間に交通路を設けて音声機能の再建を計る方法を創案し、これまでに二五〇人余りの喉頭摘出者に手術を行ってきた天津睦郎氏。

今回は、社会貢献度が高く、これまでの実績も多いことが高く評価され、天津睦郎氏に決定した。

受賞者メモリアル

- 1 櫻井春輔 △岩盤力学▽
- 2 杉山武敏 △遺伝子学▽
- 3 土田広信 △農芸化学▽
- 4 嶋田勝次 △都市計画・建築学▽
- 5 沢村誠志 △障害者の社会復帰▽
- 6 沢村誠志 △音響の研究▽
- 7 辻 庄一 △家畜育種学▽
- 8 西塚泰美 △生理学▽
- 9 中岡睦雄 △バイオエレクトロニクス▽
- 10 清水 晃 △微生物生態学▽
- 11 岡田安弘 △脳機能生理学▽
- 12 賀谷信幸 △計測工学▽
- 13 田中千賀子 △薬理学▽
- 14 安田武司 △熱帯有用植物学▽
- 15 廣畑和志 △整形外科学▽
- 16 神島安路 △応用化学▽
- 17 加藤征史郎 △生殖生物学▽



●第18回井植文化賞 ■社会福祉部門

病院ボランティアの
草分け的存在

榑崎 茂登子

★選考委員

津田 元

＜神戸新聞社論説顧問＞

野上 文男

＜川崎医療福祉大学
医療福祉学科助教授＞

橋本 明

＜家庭看護促進協会事務局長＞

兵庫県立西宮病院は昭和41年7月から、淀川キリスト教病院、大阪赤十字病院に続き、わが国では三番め、公立病院としては全国で初めてのボランティア活動を取り入れた病院だがその時に中心となってボランティアグループを組織し、活動を始めたのが榑崎茂登子さんである。榑崎さんはそれ以降県立尼崎病院、兵庫医大病院、宝塚市立病院、西宮市立中央病院等で次々とボランティアのグループづくりを注ぐと共に、昭和49年1月に「日本病院ボランティア協会」が設立されてからは初代会長の広瀬夫佐子氏を支える副会長となり、協会の運営と発展に中心となって努力を続けてきた。

今年20周年を迎えた協会には全国で80グループ（兵庫県下では17の病院ボランティアグループ）、約三〇〇〇人のボランティアが加盟している。

榑崎さん自身も昭和41年からこれまで病院ボランティアとして四三〇〇時間の活動歴をもっている。

日本の病院ボランティアの育成と発展に長年地道な努力を続けてきた実績を高く評価し、協会が20周年を迎えたのを機にこの賞を贈りたい。

△橋本 明▽

■選考経過

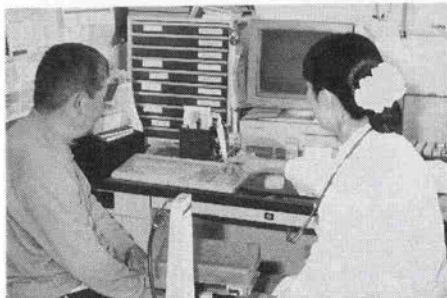
過去2～3年の間に候補として挙げられ実績も積んできた各団体個人を再度見直す形となった。

末期癌の患者と家族を支えるいずみ会を創始され、終末期医療に關しては世界的な河野博臣さん。障害者の方によって結成されている楽団あぶあぶの代表として、福祉と文化を結びつける活動を情熱的にこなされている東野洋子さん。また、障害者の自立生活を支援している西宮メーン・ストリーム協会、ボランティアヘルパーの原点でもある神戸ライフケア協会などの名前が挙げられる中、今回は榑崎茂登子さんの受賞が決定した。

榑崎さんは病院ボランティアの活動に長年尽力し、全国的にも影響を与えた実績が高く評価された。

●受賞者メモリアル

- 1 福米四郎
 - 2 小畑延子
 - 3 神戸市立女生養護学校
 - 4 春本孝子
 - 5 富永繁男
 - 6 神戸大学看護ボランティア
 - 7 米田寛子
 - 8 神戸東部地域入浴サービス実施委員会
 - 9 涌井安太郎
 - 10 山本博繁
 - 11 エリア会、OHPこうべ
 - 12 誕生日ありがとう運動
 - 13 兵庫ボランティア協会
 - 14 神戸いのちの電話
 - 15 賀川記念館
 - 16 点訳ボランティアグループ連絡会
 - 17 KOB E在宅ケア
- ボランティアグループはほほえみ



●第18回井植文化賞 ■地域活動部門

総合福祉活動へのカードシステム導入

五色町における

保健医療福祉

ICカードシステム

開発検討委員会

★選考委員

小笠原 暁

＜芦屋大学教授＞

長島 晴雄

＜神戸新聞社監査役＞

小室 豊允

＜姫路獨協大学教授＞

兵庫県五色町は町政の基本施策に住民の健康を取り上げ、一九八〇年に「健康の町」宣言を行うとともに五色県民健康村の建設に着手するなど、保健・医療・福祉の向上に努めている。一九八七年、ICカードを用いた保健・医療情報システムを構築するための開発検討委員会が設置され、コンピュータ、ICカードの読み取り・書き込み機等の設置、システムの開発を進めるとともに、関係者の教育、システムの試行・評価・改善を行い、一九九〇年三月から本格導入に踏み切った。ICカードには成人を対象とした「健康カード」と、新生児から成人期までの各種医療情報を管理する「すこやかカード」の二種類があり、現在では全町民の約半数がカードを利用している。「健康カード」には個人情報、救急時の必要情報、病歴、検査結果、薬歴、検診成績等が入力され、「すこやかカード」には母子手帳の内容、各種検診結果、小児科および歯科診療結果、予防接種情報、発育経過等が入力されていて、受診の際、医師に必要情報を提供することができる。このシステムは個人のプライバシー保護にも配慮しており、ICカードを用いた保健・医療情報システムの先進事例として全国の注目を集めている。

△小笠原 暁△

■選考経過

今回の地域活動部門は、終始淡路五色町の保健医療福祉ICカードシステムが話題となった。昨年と同じ地域であることが懸念されたが、今現在クロージアアップすべき価値があるとし、受賞が決まった。地域医療の開拓的な役割としての活動を高く評価するとともに、今後の波及効果も期待される。その他、素人演劇集団として社会的にも影響を与えているピッコロ演劇学校、港まちの自然と歴史ある街並みを大切にしよう、その保存運動に活躍している神戸港を考える会などが候補に挙げられた。また今年30周年を迎え、地域文化発展に対する功績により数々の受賞歴をもつ、須磨琴保存会、教職に就いた頃から50年、心豊かな人づくり運動を続けてこられた淡路一宮町の浜岡きみ子さんが推薦された。

●受賞メモリアル

- 1 城崎郡日高町 明石市民のコミュニティ活動
- 2 一宮町文化協会
- 3 尼崎郷土史研究会
- 4 尻池南部地区自治連合協議会
- 5 月刊神戸っ子
- 6 明延ふるさとづくりの会
- 7 KICS
- 8 丸山地区住民自治協議会
- 9 アンドレ・ブリューネ
- 10 神戸新聞文化センター
- 11 尼崎市演劇連絡協議会
- 12 プナを植える会
- 13 松島興治郎
- 14 山村留子株式会社
- 15 山村留子制度
- 16 (社)淡路青年会議所
- 17



●第18回井植文化賞 ■報道出版部門

“聴くドラマ” ラジオ番組新構想 KOBE DRAMA 8

★選考委員

宮本 和

〈神戸ラジオ関西取締役社長〉

塩見 薫

〈NHK神戸放送局局長〉

三木 康弘

〈神戸新聞社取締役論説委員長〉

コウベ・ドラマ・エイトはKiss FMが昨年の秋開始したドラマ番組である。

毎日、午後八時からの一時間の放送で、番組の中心は、神戸を舞台にした三十分の恋愛ドラマ、それにリスナーから届けられたメッセージや話の紹介で構成されている。

ラジオの世界でとりあげられる機会の少なくなっているドラマをしかも、これまで音楽放送の専門局と位置づけられてきたFM放送局がゴールデンアワーの真中で、毎日放送しようという大胆な企画であった。

番組が始ってほぼ一年、着実にリスナーの心をつかんでいる。

番組に届けられ、紹介されるメッセージも中高生から中年の女性まで幅広い層に広がっている。

映像を伴わないラジオドラマから届けられる恋のメッセージが聞く者の想像の世界を無限に広げ、その体験、悩みなどと重なりあって独自の世界を作りあげ、これが新たなメッセージとなって放送し送りがえされている。

ラジオドラマへの挑戦として始まったこの番組、物質的に恵まれていても心は常にかを求めている現代の若者達が共感出来る新しい世界を創り出したと言って良いと思う。

塩見 薫

■選考経過

まず三書物が今年度候補として挙げられた。いずれも新聞社編。それぞれの時代において直面した危機をどう乗り越えたかその決断の時を描いた「神戸市長14人の決断」(神戸新聞社・編) 毎日新聞記者が「豊かさを見失った日本」をテーマに大阪・神戸間を徹底的に取材した「阪神観」(毎日新聞未来探検隊編著)、終末期医療の現場からガン患者への様々な精神的ケアを報告した「死を迎える時」(朝日新聞社刊)。いずれも話題を呼んだ作品で甲乙つけがたい状況の中、新候補として名を挙げたのがKiss FMの「KOBE DRAMA 8」(以下略)。ラジオで小説を、という斬新的な試みが、老若男女を問わずこれまでにない「改革」となるであろうと満場一致で今年度井植文化賞に決定。放送界の未来に大きな期待が寄せられた。

●受賞者メモリアル

- 171615 「あなたの愛の手を」 神戸空襲を記録する会
- 141312 兵庫県立学校厚生会 落合重信
- 11109 サンテレビ「訪ねてみた兵庫の手づくり」 春木一夫
- 8 「兵庫探検」 兵庫史を歩く
- 7 「兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座」 神戸の中堅150社
- 65 神戸新聞談話総局「談話祭事記」 神戸からこんには「天津からこんには」 神楽起輝
- 4321 「私たちの昭和史」 パルモア病院日記「スタジオTODAY」ホットに語ろう
- 3 「収録港労働神戸港」
- 2 「ひまわり経済人100人」
- 1 「火輪の海」メダルは笑顔に輝いた
- 神戸新聞「ゴミ問題取材班」
- 「兵庫史を歩く」
- 「播磨学講座全四巻」



●第18回井植文化賞 ■国際交流部門

日印文化交流に尽くす

桑原 泰業

★選考委員

新野 幸次郎

＜神戸大学名誉教授＞

宇都宮 浩

＜兵庫県企画部参事＞

住野 和子

＜神戸YMCAクロスカル
チュラルセンタープ
ログラムディレクター＞

なにごとであれ、初心を貫ぬこうとすると俗人には期待できない執念と献身とが要請されるものである。国際交流というような仕事においてはとくにそうである。桑原さんはこの難かしい仕事に敗戦後間もなくから関心を抱き、昭和三年関西日印文化協会が沢山の人の協力の下に結成、運営されるようになってからは、その手足となって活動してこられた。

昭和五二年に、協会の理事長に就任されてからは、京阪神三支部を統合して、「インド週間」や「インド祭」などを企画実行するほか、日本でインド人が最も多く居住する神戸の特性を生かして難かしい環境の下で日印両国の相互理解と友好親善に尽してこられた。とくに本年三月には、協会創立三五周年を記念して、機関誌「日印文化」で在日インド人についての動向調査を日本ではじめて発表した。桑原さんはまた近年日本ネパール友好協会も設立、ネパールに色々なものを贈る運動も展開しておられる。ただ、ともすれば、リーダーが先駆的であればあるほど後に続く人が育ち難くなり易い。私はこの機会に桑原さんの偉大な執念が、より多くの人達に分担され、組織化されて行くようになることを祈念しながら、桑原さんのお仕事を讃えたい。

△新野幸次郎▽

選考経過

これからの時代、国際協力・国際理解がますます重要となってくる。多数の候補の中で、今回は特に長期に渡り活動が続けてきた個人・団体に注目が集まった。

チベットの難民児童画の公演会や展示会を開催しているチベット難民児童奨学会、ホームステイでの経験を相互理解に役立てようと活躍しているユートレック国際交流センター関西事務局、アジアからの留学生のために生活ガイドブックを作成している中国人留学生支援の会、途上国における子供の援助を主な活動としている国際エンゼル協会、貧困のため教育を受けられない子供達を支援するネグロスの教育里親運動などの団体が挙げたが、今年は35周年を迎え国際交流に貢献してきた関西日印文化協会会長の桑原泰業氏に決定。氏の長年の一貫した努力がひとつの歴史であると高く評価された。

受賞者メモリアル

- 1 加藤一郎 神戸日独協会名誉会長・神戸大学名誉教授
- 2 神戸日本チリ協会
- 3 神戸YMCAクロスカルチュラルセンター/留学生ホストファミリープログラム
- 4 CHIC
- 5 アルカディア協会
- 6 神戸ブライタン友好協会
- 7 海星病院ボランティア・グループ

松伯美術館に見られる

可愛らしさと静かな豊かさ

そして学園前周辺の他の美術館

嶋田 勝次△神戸大学工学部建築学科教授▽

この瀟洒（しょうしゃ）な建物が出てきていることを知ったのは、日刊新聞からであったが、近鉄奈良線の学園前駅からバスで大淵橋下車して直ぐ近くにあることから早速出掛けることにした。というのも息子夫婦の家の近くでもあって、大きくなって来た孫にも会えるというのがその理由である。

この新しい美術館の敷地は、近鉄の故佐伯会長の邸宅の一部にも当たっていたようであり、直ぐ前の大淵池の湖畔に映えて美しく光る建築であることが何とも嬉しい。

南側の道路から北の方へまわりこんで玄関ホールにたどり着く。第2・第1・特別の三つの展示室をまわってから、その下のラウンジから中庭へ出ると、紅白の梅の木が我々を迎えてくれている。小口タイルの外壁が、一層やさしさを感じさせてくれている。

この美術館は上村松園・松篁・淳之の親子三代の日本画が展示されていて、常設展となっているようである。絵のもっている豊かさに対して、いささか空間のひろが

りに欠けるところがあつて不満をもちながら、それをカバーしてくれているのは、その隣りというか隣接している旧佐伯邸の日本的空間のふんいきのおちつきである。

丁度桜の季節であつたが、裏の広場の前のしだれ桜が満開直前に当たっていたので、花やいだ時になつていたこともあつて、繊細な絵をゆっくり拝見しようという気分と、早く次に出掛けようという感覚とが交錯していたのである。

駅から南東へ十分位歩いた高台に大和文華館がある。吉田五十八先生の設計による日本調といふかどっしりとおちついた古典的建築の構成に存在感をきちんと見せてくれている。私共がよく教材として利用している「建築設計資料集成」の中にこの建築も紹介されているものである。

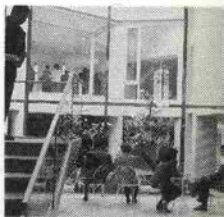
地下一階・地上二階建のシンメトリのプランに凝縮されている典型的な美術館であり、第3回の建築業協会賞を得ていたことも納得である。展示室の真中がガラスの中庭をもつていて、そこに竹が

植えられていて、いうなれば建築の内と外に象徴的な空間を定着させている。

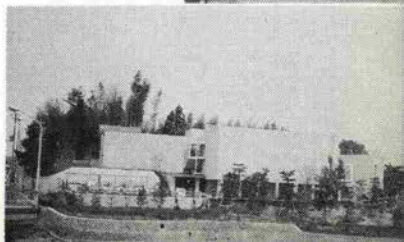
近鉄創立五十周年の事業のひとつとして昭和三十五年に開館したということであり、日本と東洋の美術の収集と展示にエネルギーを費して来ているのも立派である。

この美術館は蛙股池を半島として突出したところに立地しているのだが、その対岸といつてよいのか、その池の西側に個人的な中野美術館がある。代々林業を家業としていた中野氏が収集して来た日本近代の洋画と日本画の作品が展示されている。

玄関を入った中央には佐藤忠良先生の女性像が立つ。一階下るとその踊り場から外部の池の対岸に大和文華館が望めるし、地階には茶室まで配した心配りに、この設計をされた彦谷大先輩のうまさが見える思いがしたのである。



大淵池のほとりに立つ松伯美術館▼と、そのラウンジから見る中庭。▶



KFS 20周年記念 シンポジウム&ティーチン 激論 3 時間!

テーマ ハート and アート
KOBE いま～みらい

コーディネーター 小室豊允さん
〈姫路独協大学
経済情報学部教授〉

パネラー 新谷琇紀さん
〈彫刻家〉

高野多美さん
〈神戸大丸コーディネーター〉

武田則明さん
〈建築家〉

堀江珠喜さん
〈大阪府立大学
総合科学部助教授〉

日 時 平成 6 年 9 月 16 日 (金)

17:00開場 17:30開演

場 所 神戸風月堂88(ポートライナー)
中埠頭
☎(078)302-5555

入場料 1 名につき 3000 円 (お弁当代含む)

事務局 神戸っ子 担当 日野 ☎(078)331-2246



女性らしさを
取り戻す

●年と共に気になりだすシワやたるみも
いわゆる「中年」と呼ばれる年齢になると、ホホが垂れ下がったり口の周りなどにシワが目立ってくるものです。
こんな場合は、フェイスリフトという画期的若返り術で、気になるシワやたるみを、きれいに取り除くことができます。

これで、5～10歳は若返ることができます。

・費用 フェイスリフト60万円

●目の下のたるみ

目の周りの小ジワや目の下のふくらみが気になる人も、簡単に悩みを解消することができます。

・費用 小ジワには手軽なコラーゲン注入

1回 4万円～

目の下のたるみ取り 20万円

※表示金額以外、費用は一切かかりません。

————— カウンセリング無料 —————

PRESENT 美容整形に関する最新情報を掲載した本「いつまでも若く美しく」(品川美容外科 綿引 一著)を抽選でプレゼント。ご希望の方はハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて下記の宛先までお送りください。

〒108 東京都港区港南2-6-3 新富ビル3F
ビューティークラブ「いつまでも若く美しく」プレゼント 神戸っ子係まで

24時間無料テープ案内

☎0120-006477

品川美容外科形成外科

☎078(222)3660 〈女性〉

☎078(222)3677 〈男性〉

診療時間/AM10:00～PM7:00(年中無休)

※各種クレジットカード・ローン支払可

大阪 06(346)0454 〈女性〉 京都 075(344)3386 〈女性〉



神戸市中央区磯上通7-1-17
摩耶三宮ビル4F